

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2025 年 6 月 9 日
野村不動産ライフ&スポーツ株式会社
野村不動産株式会社
野村不動産コマース株式会社

リリースカテゴリ

ウェルネス

稲城中央公園総合体育館の愛称を「野村不動産いなぎアリーナ」に

～ 稲城市と野村不動産グループがネーミングライツ・パートナー契約を締結 ～

本プレスリリースのポイント

1. 野村不動産グループとして様々な事業を実施している稲城市において、より良い街づくりや地域貢献を目指し、稲城市より稲城中央公園総合体育館のネーミングライツを取得
2. 稲城中央公園総合体育館の愛称が「野村不動産いなぎアリーナ」に
3. 野村不動産グループ初となるネーミングライツ契約

スポーツクラブ「メガロス」を展開している野村不動産ライフ&スポーツ株式会社（東京都中野区／代表取締役社長：小林利彦、以下「当社」）は、東京都稲城市と稲城中央公園総合体育館にかかるネーミングライツ取得に関する契約を締結いたしました。令和 7 年 4 月 1 日から 4 年間を契約期間とし、当該施設の愛称が「野村不動産いなぎアリーナ」になりましたことをお知らせいたします。



【野村不動産いなぎアリーナ】

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

PRESS RELEASE

1. 契約締結の背景

稲城市において、野村不動産グループである野村不動産株式会社では住宅分譲を、同じく野村不動産コマースでは商業施設の各事業を行っております。また、当社を代表とするコンソーシアム（「みんなで彩る稲城のまち共同事業体」）が2024年4月から指定管理者として稲城中央公園総合体育館の管理運営を行っており、野村不動産グループは稲城市における事業を通じて、地域の皆様と繋がる機会を多くいただいております。

この度、稲城市が公募する「稲城中央公園総合体育館のネーミングライツ・パートナー募集」の機会に触れ、地域・社会貢献と野村不動産グループの認知向上を目指し当社がグループの窓口として応募、選定され契約に至りました。

野村不動産グループの地域・社会貢献の一環として、ネーミングライツを通じて、本施設の認知度向上や利用者の増加、スポーツ振興及び、地域の方々の健康づくりに取り組んでまいります。

2. ネーミングライツ概要

対象施設	稲城中央公園総合体育館
施設愛称	野村不動産いなぎアリーナ
契約期間	2025年4月1日～2029年3月31日

3. 稲城市における野村不動産グループの事業実績

野村不動産グループは首都圏を中心に多くの住居系土地区画整理事業に参画し、事業を行ってまいりました。稲城市内における土地区画整理事業ではこれまで3事業への参画実績があり、土地区画整理事業以外の分譲を含めると2,191戸（今後分譲予定含む）の分譲物件があり、これは市の人口約9.4万人の約7%（3人/戸として）に相当します。また、野村不動産グループ運営の商業施設「SoCoLa 若葉台」も地域の皆様の生活に寄り添った日常使いの施設としてご利用いただいております。

なお、稲城南山東部土地区画整理事業では2025年3月当該事業区画内に「TOKYO GIANTS TOWN^{※1}」がオープンし、同施設では2027年中には水族館・飲食関連施設のオープンも予定しており、今後益々の発展が見込まれます。



【ブラウドシーズン稲城南山】



【SoCoLa 若葉台】

※1 「TOKYO GIANTS TOWN」およびそれに付帯する水族館・飲食関連施設は野村不動産グループの事業ではありません。詳しくは稲城市：「TOKYO GIANTS TOWN」特集ページをご参照ください。

URL：<https://www.city.inagi.tokyo.jp/kanko/sports/1004079/1004086.html>

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

PRESS RELEASE

参画事業名	分譲物件	分譲戸数	分譲年	商業施設
稲城南山東部 土地区画整理事業	【マンション】 プラウドシティ南山	412 戸	2016 年分譲済	—
	【戸建】 プラウドシーズン稲城南山	531 戸 (今後分譲予定含む)	2018 年～	
稲城小田良 土地区画整理事業	【戸建】 プラウドシーズン稲城若葉台	345 戸 (今後分譲予定含む)	2019 年～	SoCoLa 若葉台
稲城上平尾 土地区画整理事業	【戸建】 プラウドシーズン栗平	250 戸	2020 年分譲済	—
—	【マンション】 ファインストーリア	653 戸	2003 年分譲済	—

指定管理施設	指定管理者	代表企業	構成企業
稲城中央公園総合体育館 (愛称:野村不動産いなぎアリーナ)	みんなで彩る稲城の まち共同事業体	野村不動産ライフ&スポーツ 株式会社	野村不動産パートナーズ株式会社 株式会社ギオン 株式会社日比谷アメニス 日建総業株式会社



【事業位置図】

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

PRESS RELEASE

■ご参考

2020 年 1 月 9 日リリース：「SOCOLA」誕生 第一弾若葉台（東京都稲城市）を皮切りに、2020 年内に 3 物件を展開予定

<https://www.nomura-re.co.jp/cfiles/news/n2020010901660.pdf>

プラウドシーズン稲城南山 公式 HP

<https://www.proud-web.jp/house/minamiyama/>

プラウドシーズン稲城若葉台 公式 HP

<https://www.proud-web.jp/house/d150170/>

◆野村不動産ライフ&スポーツについて

スポーツクラブ「メガロス」やアフタースクール、バイリンガル幼稚園事業を通じて地域に住まう方々に健康であることの「喜び」「大切さ」をお伝えし、「健康」と「生きがい」創造に貢献することにより、お客様や社会と共に栄え、成長することを目指しています。「顧客満足を感動と喜びに変える」を企業理念に掲げ、全社員が一丸となってきめ細やかなサービスを最適のタイミングで提供し、お客様に満足を超えた「感動」や「喜び」をお届けしてまいります。

<https://megalos.co.jp/>

【ご参考】

野村不動産グループ 2030 年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developer へ」の実現を目指し、グループ全体で、人びとの「幸せ」と社会の「豊かさ」の最大化を追求するため、2025 年 4 月に新たな経営計画を公表しました。

＜経営計画に定める 3 カ年計画の方針概要＞

基本方針		グループ全体で事業量の拡大を図り、持続的な成長を実現しながら、バランスシートを適切にマネジメントし、高い利益成長と高い資産・資本効率を両立する。
事業方針	基幹事業	分譲住宅事業・オフィス事業において、デベロップメント分野とサービス・マネジメント分野の連携を一層強化しながら商品企画力とサービス力を向上させ、確固たるポジションを構築する。
	注力領域	持続的な成長に向けて、以下5つに注力する。
		1 成長事業（賃貸住宅、ホテル、シニア住宅、物流施設）への重点的な投資
		2 開発事業、賃貸事業における投資家資金の導入
		3 グループ内連携、野村グループとの連携の強化
		4 海外事業の将来収益拡大に向けた取り組み
		5 戦略投資（M&A）による成長の加速

※3 カ年計画は長期経営方針を基に、特に注力する事業方針と戦略を示したものになります。

※経営計画の詳細は【[野村不動産グループ 経営計画](#)】をご確認ください。

本件に関するお問い合わせ

野村不動産ライフ&スポーツ株式会社
広報担当 田中・宇田川 TEL：03-5334-8600

あしたを、つなぐ



野村不動産グループ